

6/18 青森市中体連夏季大会壮行式

6月19日(土)～22日(月)にかけて、青森市中体連夏季大会が行われました。総合開会式はありませんでしたが、天候もなんとかもって試合が行われました。会場までの送迎をしてくださったり、応援してくださったりした保護者の皆様に心から感謝申し上げます。前日の18日に学校で行われた「壮行式」の様子やこれまでの練習風景、中体連を終えての感想などを紹介します。

<各部部长の意気込み>

学校での練習はありませんが、前回ベスト8だった結果をさらに超えられるように頑張ります。

(剣道部部长)

嬉しいことに1年生が2人も入部してくれました。今年度はさまざまな制限があり、ほとんど練習ができませんでしたが、部員たちと合同練習してきました。全員が自己ベストを更新します。

(水泳部部长)

団体戦は西、甲田、筒井中と闘います。目標である全員1勝を目指して、毎日練習してきました。本番では全力で頑張ります！

(卓球部部长)



卓球部の皆さん

1回戦は佃中、2回戦は沖館中と戦います。昨年度は、目標にしていた1勝することができました。今年はそれを超えるためにも1勝します。どんな場面でも、前を向いて頑張ります。

(バレー部部长)

1回戦男子団体は浦町中、女子団体は新城中と戦います。試合に向けて基礎トレーニングと基本練習を頑張ってきました。団体戦・個人戦共に県大会を目指して頑張ります。(バドミントン部部长)

1回戦は浦町中と戦います。去年私たちは1勝できず、その日から、絶対に公式戦で勝利するという目標に向かって練習に打ち込んできました。この3日間に3年間のすべてを注ぎます。

(バスケットボール部部长)



バレー部の皆さん

短距離8人、長距離6人、リレー2組で出場します。それぞれが自分の目標に向かって練習してきました。自己ベスト更新を目指して頑張ります。

(陸上部部部长)

男子団体は南中と、戦います。春季大会は団体3位でした。夏季大会は優勝を目指します。女子は、1回戦は三内中と対戦、初戦突破を目指します。個人戦では全員初戦突破、男子1番手は優勝、男子2番手・女子1番手はベスト8入賞を目指します。今までの練習の成果を発揮し、悔いのないように戦います。

(ソフトテニス部部长)

1回戦造道中と対戦します。春季大会では互角に戦った相手です。必ず勝って、2回戦を突破し、山田中といい勝負ができるように頑張ります。

(サッカー部部长)

中体連に向けて、基本を中心に練習してきました。春季大会は基本ができていなくて負けてしまいました。初戦は油川中と戦います。油川中には春季大会で一度勝っているけれど、油断しないようにしたいです。中体連の目標はベスト4です。一試合、一試合大切に頑張ります。

(野球部部长)

< 応援団団長激励のエール >

これから、浪打中学校の代表として、中体連夏季大会に出場する皆さん、私たち応援団は、皆さんが放課後も休日も一生懸命練習に励む姿を見てきました。

部活動によっては、コロナの影響で、練習試合がなくなったり、部活動の時間が短くなったりして、思うような練習ができなかったと思います。それでも目標に向かって頑張る姿は浪打中学校の誇りです。

いよいよ明日から中体連です。共に練習に励んできた仲間を信じて、最後まで、全力で戦い抜いてください。私たちは、会場に足を運ぶことはできませんが、心から精一杯の応援を送ります。

(応援団団長)

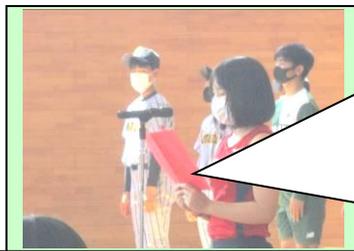


< 部長会会長決意のことば >

今日はお忙しい中、保護者の方々、リモートで参加している小学生の皆さん、そして応援団の皆さんにお集まりいただき、このような壮行式を開いてくださり、ありがとうございます。皆さんからの激励の言葉をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

私たちはこの中体連に向け、毎日練習を積み重ねてきました。その中で様々な困難を経験し、乗り越え、一回りも二回りも成長することができました。私たちが今、この場に立てているのも、これまで指導して下さった顧問の先生方を始め、コーチ、家族、仲間の支えがあったからです。だからこそ、感謝の気持ちを忘れず、最後の1秒、1プレーまであきらめず、自分たちの力を信じ、チーム浪中として一丸となり、精一杯戦ってきます。応援よろしくをお願いします。

(部長会会長)



壮行式を観に来てくださった保護者の皆さん、ありがとうございました。

< 横山校長からの激励のことば >

他校との練習試合すら制限されるなど、1年半、制限の中で練習してきた選手の皆さん、その前までの選手と比べると、練習量が十分でなかったかもしれません。でもそれは、青森市内の中学生に共通の試練だったと思います。その試練に打ち勝って、明日からの中体連、頑張ってきてください。

プロスケイターの浅田真央さんが選手時代に言っていた言葉を紹介します。「昨日の自分は決して今日の自分を裏切らない。」自分が昨日まで一生懸命にやったものは、無駄なことはない。必ず明日に生きる、今日に生きる。昨日まで一生懸命練習してきたと思います。その自信を力に変えて頑張ってきてください。

私は「勝つ」ということについては、あまり望まない。だからといって、負けてもいいということではありません。期待するのは、自分の、自分たちチームの、今までやってきたことを出し切ることを望みます。結果は必ずついてきます。今までやってきたことを出し切って負けても悔いはないと思います!

(校長)



コロナ感染予防を十分に考えながら、この壮行式を企画・運営してくれた生徒会本部の皆さん、ありがとう!! 素晴らしい動きでしたね。



< 中体連での入賞 >

< ソフトテニス部 >

個人戦 第1位 (県大会へ)

・荒関拓斗君・鳴海陽斗君ペア

個人戦 ベスト16

・西田文恒君・川崎裕人君ペア

・中野綴里さん・小田桐果南さんペア

< 陸上競技部 >

・3年男子 100m 第2位 (県大会へ)

工藤 逞仁君 11秒90

・共通女子 200m 第5位

相馬 千柊さん 28秒08

・共通女子 800m 第6位

牧 夏希さん 2分48秒58

・2, 3年男子 1500m 第7位

小林 恭輔君 4分53秒89

<中体連を終えて学んだこと…>

1回戦は油川中で、春季大会では勝った相手です。心の中に勝てるだろうという気持ちがあり、油断して負けてしまいました。試合前のアップの時や荷物をまとめる時など、礼儀などから勝負なんだよと、いつも先生は言っています。中体連の時は、それができていなくて、もう試合前から負けていたかもしれません。今後高校で同じスポーツをするかはわからないけれど、この言葉を忘れずにいたい。スポーツだけでなく、勉強やこれからの生活にも使えると思うので、心がけたいです。中体連を終えて、後悔もあつたけれど、野球を今のチームでできてとても楽しかったです。もっと今のチームで試合をしたかったです。これからは勉強に集中して、今、自分の入りたい高校に合格して、また、スポーツをしたいです。
(野球部3年)



野球部の練習風景

中体連が始まる1ヶ月以上前から足が痛くて、なかなか練習に参加できませんでした。だんだん「もう中体連には出られないんじゃないか」と思うようになり、県大会出場や自己ベスト更新をあきらめかけていました。でも、はり治療を受けて少しずつ良くなってきたので、県大会や自己ベスト更新を目指そうと思いました。その結果、2つの目標を達成できたので、最後まであきらめないことはとても大切だと思いました。
(陸上部3年)



サッカー部の練習風景

自分の目標は、「ありがとうございました。」「お願いします。」を忘れない、負ける悔しさを覚えてくる、全力でやるでした。1年後は、相手チームや敵の弱点をきちんと見極め、自分の弱点を知り、それをたくさん練習し、先生に言われたことを素直に受け入れる選手になりたいと思います。今回の中体連では、長島先輩がすごいと思いました。きちんと手首を使っていて、ダブルスのときも、私の苦手なこともうまかったので、見習いたい、そうなりたいたいと思いました。
(バドミントン部1年)

個人戦で優勝した荒関・鳴海ペアはすごいと思います。鳴海先輩は、空気を明るくしてくれたり、荒関先輩は、僕たちみんなの試合を観に来てくれて、アドバイスをくれたりしました。

テニス部の3年生は後輩をまとめたり、他の学校の人たちに挨拶をしたりと、とても礼儀正しくしていたと思います。僕は、このことを日常生活にも生かしていきたいと思いました。
(ソフトテニス部2年)

部長の彩夏さんは、残り少ない期間を意識し、自分はもちろん、部長としてみんなをまとめている姿がとてもかっこよかったです。

目標に向かって一日一日を大切にすることを知りました。みんなが同じ目標に向かって、意識して練習することで、一体感が生まれ、自分でも「頑張らないと！」という気持ちになれました。これからの日常生活でも、クラスでの活動や部活動で、一丸になる場面などでは、目標をもち、それに向かって努力することを生かしていきたいです。
(バスケットボール部2年)

<SDGs(エス・ディー・ジーズ)～持続可能な開発目標～>について学ぶ

総合的な学習の時間に「SDGs」について学習している学年があります。右に紹介するのは、3の5のM君が作成中のレポートです。4番の「質の高い教育をみんなに」という目標についてまとめたものです。

「SDGs」には2030年までに解決したい17の目標があります。それは、世界の国も地域も企業も個人も、あらゆる人々が協力して、世界が解決しなければならない課題(異常気象、自然破壊、経済格差…)について向き合い、世界の明るい未来のためにがんばろうと国際連合で決めた、目標です。ひと言で言う「だれ一人取り残さない社会」をつくるための目標です。

4 質の高い教育をみんなに



(1)この目標の意味

2030年までに世界中のすべての女の子も先住民族だったり障がいがあっても公平で質の高い教育を無料で安心して受けて、小学校と中学校を卒業して、社会に必要な知識や技術を身に付けるようにするという目標です。

(2)もしこの目標が達成できないと…もし世界中の人たちが質の高い教育を受けないと、社会に必要な知識や技術がわからず社会に取り残されてまともな仕事に就けず、お金も少ししかもらえないため、貧困につながってしまいます…

(3)目標達成のために自分ができること

最近SDGsの2030年までの解決に向けて、企業も積極的に参加しているので、SDGsに参加している企業に寄付や募金をしたりして自分もSDGsの解決に向けて少しでも関わっていきたくと思いました。十分な教育を受けられる今の環境に感謝したいと思いました。

未来の地球のために！！

学校を支えてくれる人たち

6/2 第1回浪打中学校区健全育成協議会 & 浪打中第1回評議員会
(浪打小、合浦小、浪打中3校合同で開催)



評議員会の様子です。

3校のPTA役員、評議員、町会長、児童・民生委員、地域学校協働活動推進員、交番などの皆様が参加。この日は各校の学校経営方針、4、5月の教育活動の様子を写真で紹介しました。横山校長からは、浪中の学校経営方針について説明しました。『**自分が好き、友達が好き、浪打中が好き**』と言える生徒を育てたい』

<堤町交番の署長様から>

- ・港町コンビニ付近で、「お菓子をあげる」と小学生が声をかけられたこと
- ・奥野中央公園で本の読み聞かせをして小学生を集め、動画を撮影していた県外男性がいたことが報告され、注意してくださいとのことでした

<会員の皆様から>

- ・中学校の休み時間の過ごし方についてのご質問。
→ コロナ禍のため、教室で過ごしています。基本的に校内での感染の心配がなくなるまでと考えています。もう少しお待ちください。
- ・地域と学校が連携することの意義についてのご意見。
子どもの成長を軸として地域と学校がパートナーとして連携・協働する。意見を出し合い、学び合う中で地域住民のつながりが深まり、自立した地域社会基盤の構築・活性化を図る。何か行事があったら、学校と地域とPTAと協力して、子どもの成長につなげていきたい。先日のボランティア活動で児童生徒からもらった手紙を読んで、子どもたちの中に、地域の人への感謝の心が芽生えたことがわかり、大変ありがたく、嬉しいことである。地域の一員として少しでもお役に立ちたいと考える。学校とPTAと地域が一体となってやらなければ難しい。ラジオ体操、ねぶた、落ち葉拾いなどを計画している。学校教育として取り入れるもの、地域として参加をお願いしたいものについて、「連携協議会」で検討して取り組んでいくことになる。子どもたちの成長、地域の成長につながっていくと思うので、よろしく願いたい。
→ 大変温かく、ありがたいご意見に心から感謝申し上げます。これからいろいろとよろしく願っています。

【学校評議員会とは……】

- ・青森市の規程により「学校評議員会」設置
- ・学校-保護者-地域との連携により、浪中生の「生きる力」を育むことが目的
- ・学校教育に関して、幅広く意見・助言を求め、学校運営に反映
- ・評議員の方々は、学区内に住む、青森市教育委員会に委嘱された5人以内の皆さん

<評議員の皆様からの御意見>

- コロナ禍で子どもたちもストレスが蓄積してきているとは思いますが、学校のさまざまな対策ありがとうございます。
- 修学旅行はぜひ実現してあげたいなあ。地域でも何かできることがあったらお手伝いします！
- 悩める子どもたちに手をさしのべていること、とても大切なことなので、続けていただきたい。

評議員の皆様、いつも、温かく、貴重なご意見ありがとうございます。今後ともよろしく願っています。

健全育成協議会の会場準備をしてくれた園芸部の皆さん、てきぱきと机をセットしたり、名札をつけてくれたり、とても助かりました！



会場準備をする園芸部の皆さん

【「**地域学校協働活動推進員**」のお二人を紹介します】（一昨年までの名称は「学校支援コーディネーター」）

☆ **山内 美恵子**さん <学区内主任児童・民生委員>

☆ **神保 和則**さん <学区内町会長・主任児童・民生委員>

青森市では「**地域学校協働活動推進事業**」を実施。

目的 学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整える

内容 学校が手助けを必要とする「学習支援活動」、「部活動の指導」、「学校内の環境整備」、「登下校の安全確保」、「学校行事の運営支援」、などの活動を、地域の方がボランティアとして支援すること



※ お二人は、浪中のためにこんなことをしてくれる人です。

- ・ボランティア活動実施のための連絡調整をする
- ・学校がどんな支援を求めているのか聞いてくれる
- ・ボランティアの募集をする



